

## 第1949回埼玉県教育委員会定例会

- 1 日 時 令和5年2月17日(金) 午前10時開会  
午前10時35分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 高田教育長、戸所教育長職務代理者、小林委員、首藤委員、櫻井委員、石井副教育長、古垣教育総務部長、石川県立学校部長、石井市町村支援部長、小谷野教育総務部副部長、平野教職員採用課長、関根財務課長、阿部市町村支援部参事兼小中学校人事課長  
案浦書記長、岩崎書記、原口書記、森田書記

4 会議の主宰者 高田教育長

### 5 会 議

#### (1) 前回議事録の承認

- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
- 高田教育長が、戸所教育長職務代理者を議事録の署名者に指名した。

#### (2) 報告事項

埼玉県公立学校教員採用選考試験の実施計画の概要について

平野教職員採用課長（提出理由、埼玉県公立学校教員採用選考試験の実施計画の概要、主な変更点について説明）

小林委員 志願者確保に向けた説明会の対象が教員養成の大学がメインになっていますが、来年度からセカンドキャリア特別選考が行われます。新規の取組として、座談会形式の説明会を実施し、広く公開するとの説明がありましたが、「広く」というのは、どの程度の範囲を想定しているのか、教えてください。

平野教職員採用課長 基本的には、大学生を想定していますが、セカンドキャリア

ア特別選考を実施することから、ターゲットは、大学生以外の民間企業等で働いている人たちにも広く示していきたいと考えています。内容も民間企業にいる方にとっても有益な情報を提供していきたいと考えており、一度民間企業に就職し、教職に転職した職員の情報などを新たに示していきたいと考えています。

小林委員 新卒採用と中途採用を分けて考えていると思いますが、新卒の方に中途採用の情報を提供すると、1回民間企業等に就職し、その後に教員を目指した方が良いと受け取られかねないか心配です。教員の魅力を伝える内容は、どちらにも共通すると思いますので、枠に捉われずに情報をうまく使いながら、教員全体の魅力の向上を伝えてほしいと思います。学校の先生は、マイナスのイメージが持たれやすいですが、イメージアップをするために柔軟にうまく情報発信をしてほしいと思います。

平野教職員採用課長 今までのアプローチは、大学新卒者を中心に行っていました。今年度ペーパーティーチャーセミナーを11月から1月にかけて実施しましたが、改めて教員をやってみたい人が潜在的に多い印象を受けました。そういった方をターゲットにした場合、転職にあたり待遇面などが重要になってくると思いますので、発信内容は大学新卒者と異なると認識しています。委員お話のとおり、大学新卒者と民間企業等の経験者の方に発信する教員の魅力については共通な部分はありますが、関心がある部分は若干異なりますので、その辺りをうまく使い分けをしながら周知をしていきます。

戸所教育長職務代理者 セカンドキャリア特別選考を新設するに辺り、いろいろなことをアプローチして、動かされてきたと思います。現段階でセカンドキャリア特別選考について、どのくらい志願者が来るのか、手応えなどを把握していれば教えてください。

平野教職員採用課長 今年度、ペーパーティーチャーセミナーを開催しました。当初は事務局もセミナーに参加してくれるのだろうかと不安に思っていたのですが、実際は、会場の都合上人数制限しなければならないところもあり、非常に反響がありました。そのため、教員免許を所持しているにもかかわらず、教職

に就かなかつた方々が潜在的に非常に多いと感じました。セカンドキャリア特別選考は、そういった方々がたくさん志願してくれることを期待しています。これまでの選考では、民間企業の経歴がある方は受験の年齢制限がない一般選考を受験していましたが、これからはセカンドキャリア特別選考を受験する方もいると思います。さらに一般選考で大学新卒者と同様に受験することにハードルが高いと感じていた人たちがセカンドキャリア特別選考を受験してくれるのではないかと考えています。

戸所教育長職務代理者 今後も教育局から能動的にアプローチをしてほしいと思います。

首藤委員 教員志願者を増やすために様々な取組が行われていると感じました。

14ページから16ページの志願者確保に向けた取組について、連携大学の学生が後輩に体験談を伝えるため、母校の説明会で話をすることは、非常に有効だと思います。私も高校で授業したときは、必ずその高校の卒業生をプレゼンテーションに加えていて、卒業生の話になると高校生の目の色が変わりました。自分たちの先輩が夢の実現に向かって進んでいるのを実感できるだけで効果が高いと思いますのでこういった取組を引き続き行ってほしいと思います。一点心配なのが、行える高校が限られてしまうのではないかとと思いますが、その辺りはどのように考えているのでしょうか。

平野教職員採用課長 この取組は非常に好評であり、大学にとっても、大学のピアーアールになり、学生には後輩に説明することが自分にとっても非常に有意義な時間だったと話してくれます。また、母校である高校にとっても卒業生の成長した姿を見られることで、参加する関係者に喜んでいただいている取組です。説明会ではなるべく卒業生が行けるように努力はしていますが、日程の関係上、どうしてもマッチングができない場合があります。事務局もできる限り、大学と協力して、少しでも多くの高校で出身の大学生が参加できるよう調整しています。

高田教育長 現在、教員採用選考試験が厳しい状況にあります。まずは大学新卒者の志願者を増やすことが必要ですが、民間企業に就職した方の中で人材育成

に貢献したい方々が多くいると思われるので、是非そういった方に学校に関わってもらおうようセカンドキャリア特別選考を新設しました。学校に様々な経験を積んだ人材がいることが教育の質的な深まりにつながると考えています。今後も民間企業の方々へのアプローチについて引き続き検討していき、優秀な人材が埼玉県の教員採用選考試験に志願してもらえるよう努めてまいります。

(3) 次回委員会の開催予定について

3月10日（金）午前10時

<非公開会議結果>

第10号議案 県議会令和5年2月定例会提出予定案件について

県議会令和5年2月定例会提出予定案件の原案を決定しました。

第11号議案 教職員の人事について

狭山市教育委員会学校教育センター所長兼主任指導主事 今福雅之を、3月1日付けで狭山市立広瀬小学校長として発令する人事案を決定しました。